

## 1. 水の確保

災害時に困るのは断水発生時の水の確保です。救助を待つ間、数時間後なのか数日後なのかはわかりませんが、水と食料が無ければ、命をつなぐことが出来ません。水はトイレや洗い物にも使用しますので、飲料水だけではなくトイレ用の水なども用意が必要です。

トイレ用の水は飲めるほどきれいな水でなくても良い為、お風呂の残り湯を捨てずに溜めておく、バケツやポリタンクに溜めておく、雨水を溜めておく、などの方法があります。キャンプ用の水タンクなども利用できます。定期的に水の入れ替えが必要ですが、備えあれば患いなしです。

## 2. 携帯トイレと簡易トイレ

生きていれば、トイレも大切なインフラです。自宅のトイレが使える状態なら、上記のトイレ用保存水を流すことで、水のある限り使えることは使えます。ただし、大地震の場合などは下水道管が破壊されている場合もあり、その様な場合には排水も控えなくてはなりません。大地震のあとは、お住まいの地域で下水道の被害状況を確認してから排水するようご注意ください。

携帯トイレや簡易トイレも役に立ちます。渋滞対策用、災害対策用として、通販でも販売されています。

携帯トイレは車での移動中でも使用できるようコンパクトに設計されていて、持ち運びもできます。簡易トイレは、断水で水が出なくなったトイレの便器に被せて使用するものが多いです。50回分で4000円程度から販売されています。50回分でも家族3人なら一人一日5回として三日程度です。備えておいた方が安心です。

## 3. 火災対応

火災発生時、目の前で発生したならまずは初期消火です。水を掛ける、水で濡らした布を被せる、消火器があれば消火器を使う。防災訓練等で消火器の扱い方を身につけましょう。

初期消火で消火できないと判断したら、119番通報、即避難です。

ご家庭のキッチンに家庭用消火器を備え付けましょう。2,000円から6,000円程度で販売されています。消火器には使用期限があります。ご自宅の消火器の使用期限を確認して、必要ならば買い替えましょう。

## 4. 防災訓練

藤沢東部地区総合防災訓練が、今年は11月12日(日) 9:30より藤沢小学校校庭で開催される予定です。昨年は、起震車での地震体験、カセットコンロとポリ袋での炊飯体験(普通のポリ袋は沸騰すると溶けてしまうので耐熱ポリ袋を使用します)、消防隊による消火訓練の実演、災害時の自宅トイレの上手な利用方法の指導など有益な情報・体験がありました。ご都合つく方は是非ご参加下さい。毎年、同じような時期に開催されます。

朝日町町内会では、防災対策委員を募集中です。

※次号発行は11月頃の予定です。

朝日町町内会 HP <http://www.asahicho-fujisawa.jpn.org>

以上